

4月からスタートした「防災シニア（上級者コース）マイスター講座」の第4回目を、宿営を伴う1夜2日の実践形式で実施します。

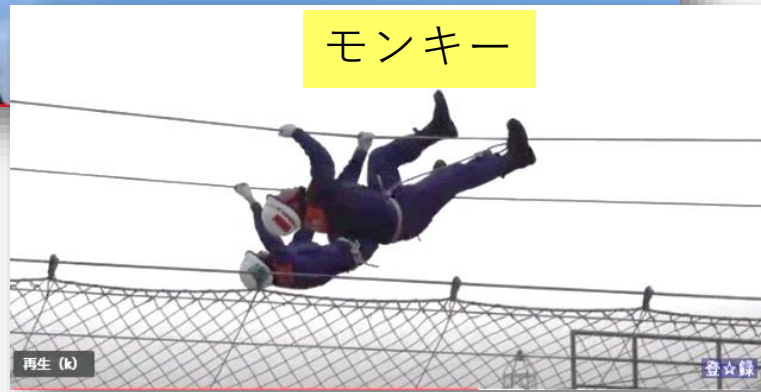
陸上自衛隊の支援を受けつつ、滅多に体験できないロープ訓練も行います。島田市の自然に身を投じつつ、使えるものは何でも使い5感をフルに発揮して、災害から生き残る術（すべ）を学びます。

- ◆ 日時：7月28日（水）13時～7月29日（木）07時頃  
（取材時間は、ロープ訓練を実施する14時30分～15時30分頃がお奨め）
- ◆ 場所：童子沢親水公園（金谷町大代）



# 【講座メニュー】

- ① 錯雑地の通過（ロープ訓練、沢登り等）  
14：30～16：50



- ★ 陸上自衛隊 板妻駐屯地第34普通科連隊  
第1中隊隊員5人程度の支援を受ける。
- ・自衛隊によるロープ渡りの展示
  - ・ロープによる安全確保、ロープの結び方

- ② 遭難時の保温・給水法：17：00～17：40
- ③ 簡易資材を活用したテント設営法・簡易照明  
作成法：17：50～18：40
- ④ 野外調理実習：18：50～20：50  
火起こし、野草試食、ナイフ使用法等
- ⑤ 夜間行動実習：21：00～21：40  
無照明下の行動、夜光テープ活用  
星座による方向維持等
- ⑥ 害虫・害獣防護：21：50～22：30
- ⑦ 突発事案対処：深夜

翌29日（木）06時頃に現地出発、市役所帰庁

## 【取材のポイント】

- ◆ 過去6年間の「防災マイスター育成講座」を含めて、職員に対する、年間を通じた体系的な防災・危機管理研修は、全国でも島田市独自の取組です。⇒参考資料を参照  
これまでも、全国から取組内容について、問合せを受けています。
- ◆ 昨年までの講座をバージョンアップした今年度の「防災シニアマイスター講座」は、野外実習を主体としており、より実践的なメニューで構成しています。  
即戦力として危機管理業務に従事する能力（危機察知力・危機対応力）を養うためです。
- ◆ 今回の講座では、特に、実践方式に徹した講座です。災害に遭遇した時に、まず必要なことは自分自身が生き残ることであり、これができてこそ人を助け、市の災害対応業務に専念できます。1回でも体験しておけば、いざという時に余裕が生まれます。また、本講座を通じて、受講生の眠っている底力が呼び覚まされることを期待しています。
- ◆ 自衛隊の支援を得て、てほどきを受けることで、しっかりとした技術を学び安全を確保できます。  
板妻駐屯地（御殿場市）第34普通科連隊第1中隊は、島田市への災害派遣部隊です。
- ◆ せっかくの機会なので、本来の受講生3人（女性1人、男性2人）の他、希望受講生最大4人を受け入れロープ訓練のみに参加させます。本来の受講生は、「防災マイスター」の認定者であり、志願して本講座の受講生となった職員です。  
また、染谷市長もロープ訓練を体験する予定です。

# 1 令和3年度防災シニア（上級者）マイスター講座の概要

## (1) 目的

危機管理・防災に関して一定レベル以上の知見と行動力を有し、将来の市の危機管理体制強化に寄与し得る人材を育成する。この際、現場対応力と危機管理センスの習得を重視する。

(2) 受講生 3人（危機管理課危機対策係、都市政策課都市対策係、行政総務課統計担当事務員）

(3) 講師 危機管理専門官

(4) 年間講座メニュー（1回の講座は、通常2時間～4時間。#4は1夜2日）

# 1（4月）	用心・備えとリーダーシップ発揮の基礎	# 6（10月）	災害（事故）現場研修
# 2（5月）	水流体験・観天望気、水と食の確保	# 7（11月）	災害危険箇所現地研究
# 3（6月）	気象データ・ハザードデータの活用法	# 8（12月）	県防災センター研修
<b># 4（7月）</b>	<b>災害現場で生き残る知恵と術</b>	# 9（1月）	防災施設等研修
# 5（9月）	水防活動実務研修	# 10（2月）	ドローン等操作体験

## 2 その他

(1) 令和3年度試行的に本事業を行い、成果の検証を経て、令和4年度本格事業化を検討する。

(2) 過去6年間行ってきた「防災マイスター育成講座」により、203人の防災マイスターを認定し、庁内全体の危機管理意識と危機対応能力の全体的底上げを実施。後半3年間は、一般市民最大10人程度も参加

(3) 「防災マイスター」認定者の人材活用例

- ・内閣府（防災）での1年間の研修を経て、危機管理課に所属
- ・防災訓練のスタッフや後輩防災マイスター受講生のグループ研究等での助言
- ・所属課での本来業務での危機管理に関する知見活用